

静岡市清水区感染症発生動向

2021年 22週 集計期間 5/31-6/6

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症	4	6	15	28	22	14	10	3							102
咽頭結膜熱								1							1
溶連菌感染症						1		1							2
感染性胃腸炎			3	2	1	8	7	6	1	5	2	5			40
水痘									1			4			5
手足口病															
伝染性紅斑															
突発性発疹			2												2
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ 髄膜炎 MCLS															
小児科Flu															
						小児科定点総数 152		増減 -10	前週比	93.8%					定点当たり 25.3
										病院:開業医 0:152					増減 0:-10
内科Flu															
								インフルエンザ総数		増減 0	前週比	?			定点当たり
															増減 0:0
										小児科:内科 0:0					増減 0:0

総数152、前週の93.8%と減少です。

首位は6週連続RS感染症、前週比86.4%、定点当たり17と多数ですが減少です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比117%、定点当たり6.6と増加です。

以下は、全て定点あたり1以下ですが、

水痘5名が目立ちます。水痘の10歳代4名は、同じ集団からの報告です。

残りは、溶連菌感染症、突発性発疹2名ずつ、咽頭結膜熱1名のみです。

内科も含むインフルエンザ、63週続けて0です。

9/6小児科休日当番医は、来院数57名、RS11名、溶連菌2名、胃腸炎1名、
とご報告をいただいています。

RS、一気に爆発するのではなくて、園を変えて次々と飛び火していきます。
インフルエンザと感染拡大パターンが違うのだと思います。